

利賀っ子だより



R5. 3. 2

○ 「そおっとね。」

長休みの時間、洗面所で3・4年生が水槽を前に集まっていた。メダカの水槽の水替えをしているようでした。水槽の中に入れていた石にゼリー状のものがついているのを発見し、よく見ると貝の卵ではないかと思うというのです。確かに水槽の側面には、貝が付いています。4人で相談して、「何かの卵であることは間違いない。だとしたら、守ろう。」という結論に至り、「そおっと。そおっと。」と声をかけながら作業していたのでした。

水が冷たいことも厭わず、そして、みんなで考えて、自分たちなりの結論を出して活動していることが嬉しいと思いました。



「卵に違いない」

○ 新たなブーム



「おいしい！」



「あんなふうになりたい。」

ここ数日、1年生の2人は、休み時間はバドミントンに夢中です。なかなかラケットにシャトルが当たらないのですが、「おいしい!」「当たった!」「たくさん飛んだ!」等、互いに声援を送りながら汗だくになって楽しんでいます。聞くと「中学生みたいになりたい。」とのことでした。先日、中学生と6年生が打ち合っているところ見て、「あんなふうになりたい。」と思ったそうです。憧れの姿を近くで見付けることができるのは、校舎が隣接するからこそその利点です。1年生の2人に場所を譲るように上の学年が遊んでいるのも、利賀っ子ならではの優しさです。温かい気持ちになりました。

○ 3月になりました

2月があっという間に過ぎ、3月になりました。

高学年のフロアには、卒業までの予定表が掲示してありました。どの学年も今は、来週に予定されている「卒業おめでとう集会」の準備、練習に取り組んでいます。

進級、進学するまでに「しなければならないこと」「したいこと」「したほうがいいこと」を各自で判断して1日1日を大切に過ごすことができるよう、全教職員で支援していきます。



1日1日を大切に

(高田 公美)